



青森県感染症発生情報 (2019年第43週)

I 第43週の発生動向 (2019/10/21~10/27)

1. 手足口病については、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。
2. インフルエンザについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。迅速診断キットによる型別の報告は、A型21人でした。
3. 伝染性紅斑については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
4. 流行性角結膜炎については、東地方+青森市保健所管内の定点当たり報告数が5.50と急増し、また、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。

II 第43週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	1	0.08	2	0.13	16	1.07			1	0.11	1	0.17	21	0.32	13
	RSウイルス感染症	8	1.00	11	1.22	4	0.40	10	2.00	2	0.33	1	0.25	36	0.86	15
小児科	咽頭結膜熱			3	0.33	2	0.20	1	0.20	1	0.17			7	0.17	3
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1	0.13	6	0.67	8	0.80			6	1.00			21	0.50	-8
	感染性胃腸炎	14	1.75	5	0.56	25	2.50	13	2.60	7	1.17	8	2.00	72	1.71	0
	水痘	1	0.13	3	0.33							2	0.50	6	0.14	0
	手足口病	11	1.38	14	1.56	3	0.30	15	3.00	19	3.17	1	0.25	63	1.50	-28
	伝染性紅斑	7	0.88	1	0.11	9	0.90	1	0.20	1	0.17			19	0.45	6
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	5	0.50			1	0.17	2	0.50	14	0.33	-4
	ヘルパンギーナ	1	0.13	4	0.44	6	0.60							11	0.26	1
	流行性耳下腺炎	1	0.13			1	0.10	3	0.60	1	0.17			6	0.14	4
	眼科	急性出血性結膜炎														
流行性角結膜炎		11	5.50			3	1.50							14	1.27	11
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											7	7.00	7	1.17	4
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

ノロウイルスによる感染性胃腸炎 (五類定点把握対象疾患) 第2回

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、一年を通して発生していますが、特に冬に流行します。

ノロウイルスの感染力は非常に強いいため、患者のふん便やおう吐物のごくわずかでも人の手やドアノブなどに付着すると、感染の拡大に繋がります。そのため、食品取扱者が感染していると、大規模な集団発生を起こしやすく、十分な注意が必要です。

感染予防としては、調理や食事の前、トイレの後に手洗いをすることが重要です。また、患者のおう吐物やおむつなどは、マスクや手袋を着用して適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [感染性胃腸炎\(特にノロウイルス\)に注意しましょう!\(青森県HP\)](#)

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・リネン類などの 消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
- 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部(ドアノブなど)消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
- 85℃で1分以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
- 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの 処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
- 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
- ペーパータオル等(市販される凝固剤等を使用することも可能)で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
- 拭き取ったおう吐物や手袋等は、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
- しぶきなどを吸い込まないようにします。
- 終わったら、ていねいに手を洗います。

[ノロウイルス食中毒予防対策リーフレット](#)より抜粋

(出典:厚生労働省 HP)

感染性胃腸炎 青森県



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市2人、弘前1人 (2019年計：180人)
- ・つつが虫病（四類全数把握対象疾患）：三戸地方1人 (2019年計：8人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

無菌性髄膜炎疑い患者（ふん便、9/11）・・・エコーウイルス25型：青森市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第40週～第43週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40	レジオネラ症1人 百日咳1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症2人 つつが虫病1人 バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人 百日咳1人	
41	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症2人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	百日咳3人		腸管出血性大腸菌 感染症2人 百日咳1人	梅毒1人
42		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人 梅毒1人	梅毒1人	レジオネラ症1人	百日咳1人	百日咳1人
43			つつが虫病1人			

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2019年第40週～第43週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40	2		2			
41					1	
42			2			
43	2	1				

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第42週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	17151	4	79	3184	33	14	403	371	16	13

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウィルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症
累積報告数	5	2	1	92	42	89	389	248	4	2

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	46	13	2	1910	20	698	269	1763	62

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	702	19	152	730	946	36	452	40	2526	378

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	3	5351	116	101	61	14013	2238	723	24	

青森県（2019年第1週～第43週までの累計）

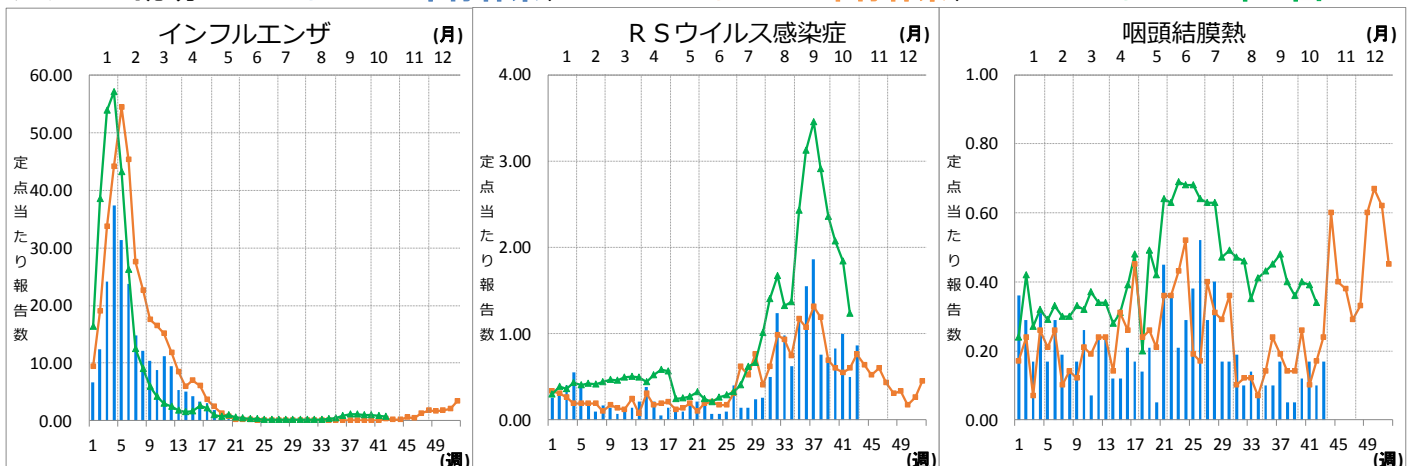
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	コクシジオイデス症	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	180	21	1	1	1	8	11	5	1	36

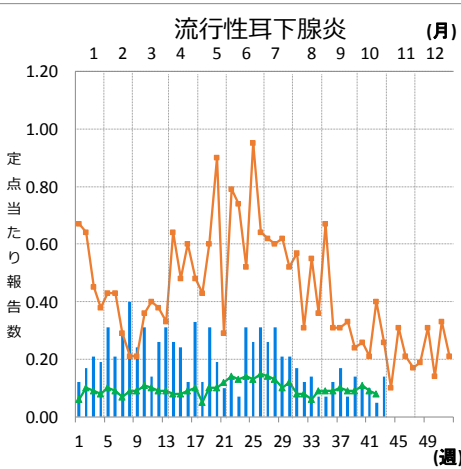
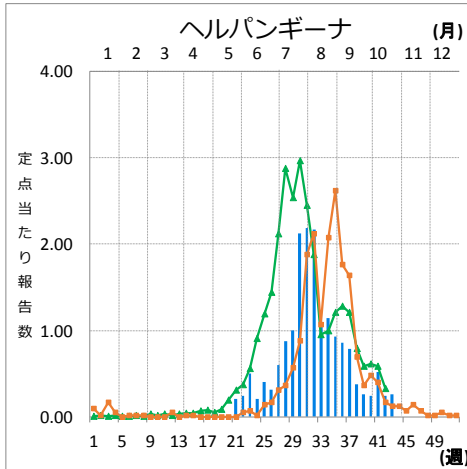
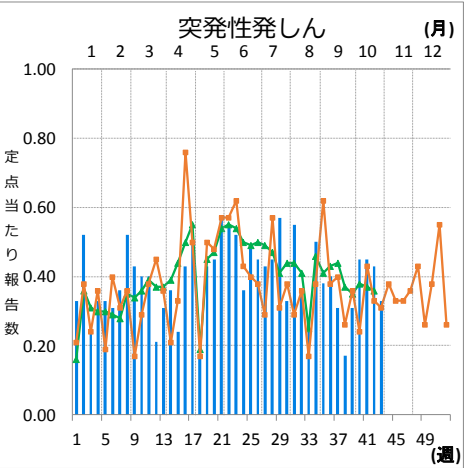
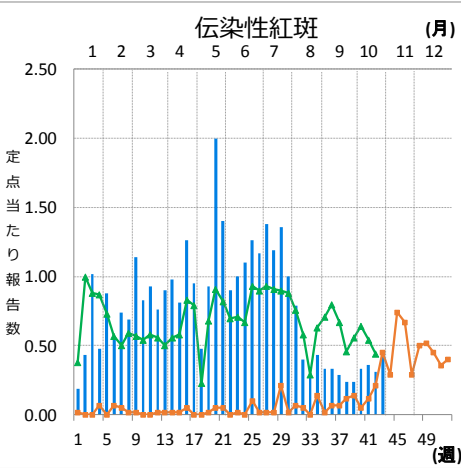
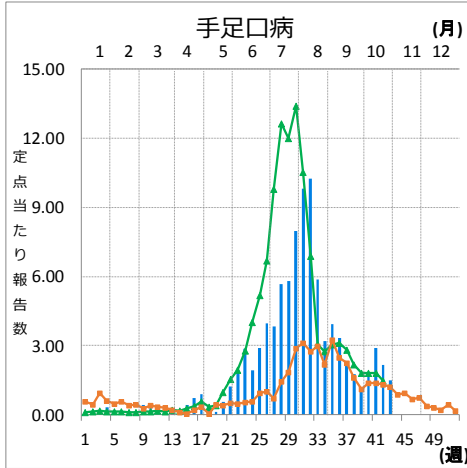
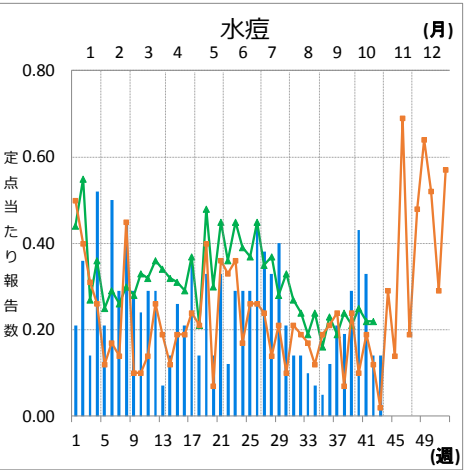
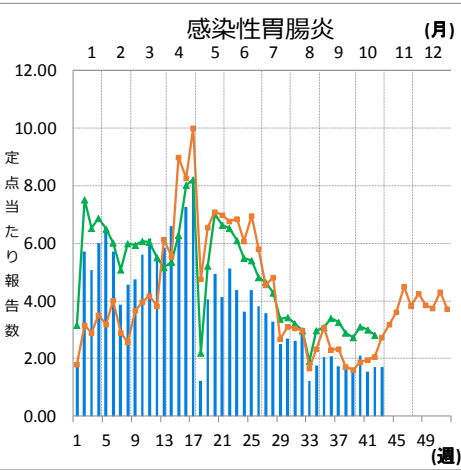
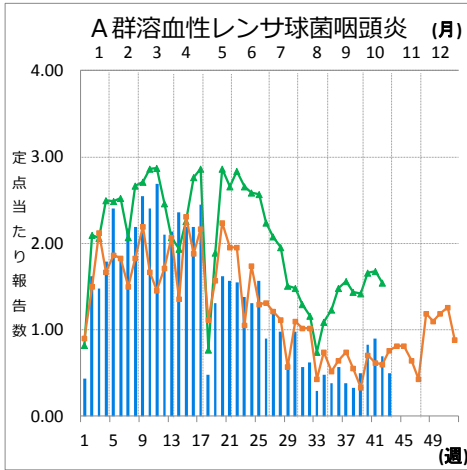
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	2	1	8	2	2	13	1	27	2

分類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	5	43

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第43週、ただし全国は前週）

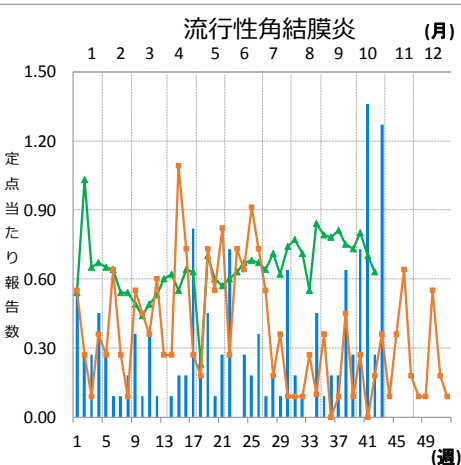
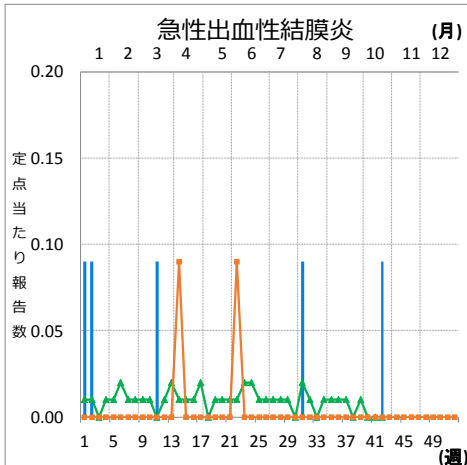
グラフの説明 ← は2019年青森県、 ■ は2018年青森県、 ▲ は2019年全国





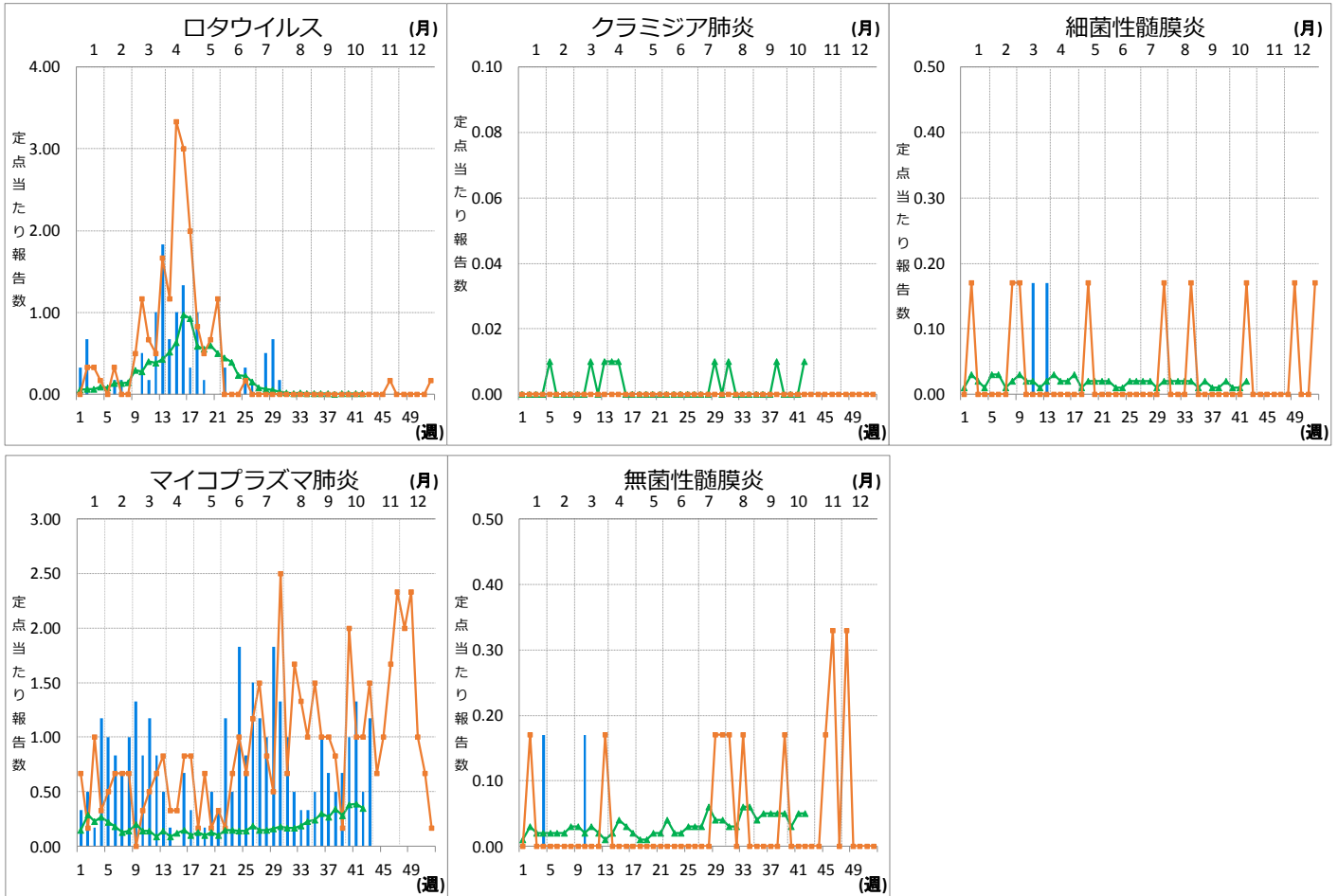
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第43週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■—は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第43週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ← 〓は2019年青森県、■〓は2018年青森県、▲〓は2019年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月2日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第43週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)												計 (施設別)	
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-13週	4月 14-17週	5月 18-21週	6月 22-26週	7月 27-30週	8月 31-34週	9月 35-39週	10月				
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	0	13	0	0	0	0	155
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	13
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	8	0	0	0	0	0	208
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	1	1	0	0	0	0	19
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	8	13	0	0	0	0	429